

自治会などからの質問・意見と市の考え方

環境審議会からの中間答申について、広く皆さんからの意見を伺うためパブリックコメントや自治会説明会を実施しました。その結果、パブリックコメントでは66件、自治会説明会では1014件の意見が出されました。提出された中から、主な意見と意見に対する現時点での市の考え方をお知らせします。なお、市ホームページでは、全ての質問と意見を掲載する予定です。



「ごみの減量によってどのような効果が見込まれますか」

A 焼却量が減ること、地球温暖化や大気汚染物質の発生抑制に寄与できます。また、ごみ処理には安定性と継続性が求められており、平成31年4月に稼働予定の新焼却施設の延命にもつながります。



戸別収集



集合住宅ではメリットがないのでは？

A 敷地内に「ごみ集積所」がある集合住宅では、ごみの出し方は変わりません。そのため、市としての具体的な支援が可能なかを検討します。

有料化



なぜ有料化が必要なのですか？



A 有料化は、「燃やせるごみの減量化」「分別に対する意識の向上」「負担の公平性の確保」を図るための有効な手法と考えられています。

本市の家庭系ごみの内容物調査結果では、燃やせるごみの中に約3割の資源物の混入がありました。燃やせるごみと燃やせないごみを有料にし、資源物を無料にすることで分別意識が働き、ごみの減量が図られると考えます。

また、ごみの量に応じた処理経費の一部負担を求めることで、負担の公平性も図られます。

手数料の徴収方法と金額は？



A 指定袋を作成し、手数料を付加した価格で購入していただく方法が一般的です。手数料は県内で有料化を実施している自治体とのバランスも考慮し、1袋あたり2円が基準になると考えています。1人1ヶ月当たり平均すると概ね140円程度になります。

手数料1袋あたり2円は高いと思うが？



A 手数料1袋あたり2円とした場合、手数料収入はごみ処理経費全体の約17割になります。有料化を実施した場合でも、ごみ処理経費の大部分は税金で賄われます。

有料化になった場合、不法投棄が増加するのでは？



A 全国の有料化を実施している自治体では、有料化による不法投棄の顕著な増加は見られないと聞きます。しかし、不法投棄の増加は否定できないため、パトロールや指導を強化するとともに、地域や民間企業に通報などの協力を求め、防止に取り組みます。

減免制度はありますか？



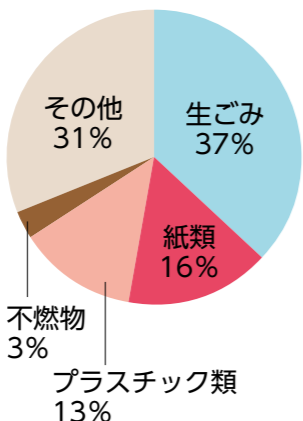
A 他自治体の事例を参考に判断しますが、一般的な事例は次のとおりです。
【減免対象】生活保護世帯
【減免品目】紙おむつ・地域清掃ごみ

「燃やせるごみ」を減らすために「人ひとりができること」

「ごみ減量の近道は、燃やせるごみを「資源」に分別

市はごみ集積所に出された燃やせるごみを無作為に抽出し、ごみの中にどれくらいの資源物が混入しているかを確認する「組成分析調査」を行っています。この調査の結果、燃やせるごみの中には資源となり得る紙類やプラスチック類が30割程度含まれており、分別の徹底などで燃やせるごみはさらに減量することができます。

燃やせるごみの内訳



リサイクルできるかも！出す前にもう一度確認を

燃やせるごみをしっかり分別することで燃やしていたものが資源になります。分別方法は冊子「資源とごみの分け方・出し方」やごみ分別辞典サイト「ごみサク」で確認できます。なお、海外製品などの素材や出し方が不明などの問い合わせは環境課へ。

そばに置いて再確認を冊子「海老名市資源とごみの分け方・出し方」

冊子は昨年11月に発行・全戸配布しています。また、環境課で配布のほか、市ホームページに掲載しています。



スマホで手軽に検索「ごみ分別辞典サイト「ごみサク」」

キーワード検索欄に出し方の分からないごみの品目を入力し、「分別種別名」詳細をクリックすると分別方法が表示されます。



「生ごみ処理機」購入費の一部を補助

電動式乾燥型生ごみ処理機を使用すると、生ごみの排出量が約5分の1になるなど、削減効果があります。

市では生ごみ処理機購入費の4分の3を補助しています。必要書類や申請などの詳細は、環境課へ問い合わせまたはホームページをご覧ください。

市内在住または市内に事業所があり、生ごみ処理機を設置し、維持・管理できる方「生ごみ処理機を購入する前に環境課へ、直接または電話で補助金の予約をしてください」

生ごみ処理機を展示しています



毎月第3(木)~(土) 8時30分~17時15分(土は12時まで) 市役所1階エントランスホール 他その日は市役所5階環境課前に展示しています

主な生ごみ処理機 ※本体価格は参考価格です。補助額は100円未満切り捨て

乾燥型生ごみ処理機(電動式)

本体価格 7万6,000円
補助金活用で 2万6,000円に



屋内用のコンパクトな生ごみ処理機。電気力で生ごみを乾燥させるため、非電動式より短時間で処理できます。

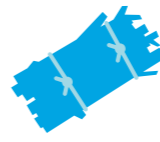
海老名キエーロ(非電動式)

本体価格 2万4,000円
補助金活用で 6,000円に



土の力で生ごみを分解・消滅させます。繰り返し使っても土が増えず、維持費がかからないのが特徴です。

分別品目の追加



どのような分別品目が増えますか？



A 現在の分別品目18品目に加え、燃やせるごみに分類している「剪定枝」を新たな資源物として分類し、資源化することで、燃やせるごみの減量を図ります。